

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	
科 目 名	視覚障害総論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1)
対 象 学 年	2年	学 期	前期	教室名	
担 当 教 員	齋藤 真之介				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として視能検査・訓練に従事した。				
《授業科目における学習内容》					
視覚障がい者に対するケア、すなわちロービジョンケアを成功させるためには、その患者の見えにくさを把握し、それにあった補助具の紹介をすることが鍵となる。まずは一般的な方法論を学び、その上で適切なケアの方法を考えられるようにする。					
《成績評価の方法と基準》					
学期末定期試験(100点満点)の80% 平常点(授業内における小テスト)20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「新しいロービジョンケア」 発刊:メディカルビュー社 編集:山本修一、加藤聡、新井三樹					
《授業外における学習方法》					
教科書を読み、理解を深める。					
《履修に当たっての留意点》					
ロービジョンケアは患者という一人の人間に寄り添いながら進めていく必要があります。患者の生活を想像しながら、授業に取り組んで欲しいです。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	社会福祉の理論を説明できるようになる。	「新しいロービジョンケア」など	無し	
	各コマにおける授業予定	障がいと社会福祉理論			
第2回	授業を通じての到達目標	福祉制度を言えるようになる。視覚障がいにより、どのようにQOLが低下するのかを説明できるようになる。	「新しいロービジョンケア」など	復習 「新しいロービジョンケア」 P174～P183 P120～P138	
	各コマにおける授業予定	視覚障がい者手帳と、障がい者年金疾患と障害			
第3回	授業を通じての到達目標	視機能評価と障がい認定のための検査を言えるようになる。	「新しいロービジョンケア」など	復習 「新しいロービジョンケア」 P22～P43 P203～P212	
	各コマにおける授業予定	法律と等級①			
第4回	授業を通じての到達目標	等級の計算ができるようになる。	「新しいロービジョンケア」など	復習 「新しいロービジョンケア」 P22～P43 P203～P212	
	各コマにおける授業予定	法律と等級②			
第5回	授業を通じての到達目標	様々な補助具の機能を知り、適切に選定できるようになる。	「新しいロービジョンケア」など	復習 「新しいロービジョンケア」 P22～P43 P203～P212	
	各コマにおける授業予定	補助具について			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	視覚障がいと補助具選定の基準がわかる。	レジュメ	特に無し
	各コマにおける授業予定	臨床での実際症例 ①		
第7回	授業を通じての到達目標	補助具選定の際の応用を知る。	レジュメ	特に無し
	各コマにおける授業予定	臨床での実際症例 ②		
第8回	授業を通じての到達目標	視覚障がいにより、どのようにQOLが低下するのか、視機能評価と障がい認定のための検査、様々な補助具について理解し、知識をまとめる。	「新しいロービジョンケア」など	「新しいロービジョンケア」 上記全範囲
	各コマにおける授業予定	まとめ		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			